

進捗状況報告シート

(2011年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入のこと。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	経営戦略研究科・会計専門職専攻
大項目	11 国際関係
中項目	
小項目	11.0.1 国際交流（国内外における教育研究交流）についての方針を明示しているか。
要素	(KG1) 国際化への対応と国際交流の推進に関する基本方針の適切性
小項目	11.0.2 国際交流（国内外における教育研究交流）を適切に行っているか。
要素	(KG1) 国際レベルでの教育研究交流を緊密化させるための措置の適切性 (KG2) 国内外の大学院間の組織的な教育研究交流の状況

II. 自己点検・評価(2010.5.1～2011.4.30の進捗状況報告)

《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の評価を行っている。
進捗評価はA～Dの4段階とし自ら評価した。A～D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 英語コミュニケーションを体系的に学習するためのカリキュラムの構築	→英語コミュニケーション科目のカリキュラムの設定・構築状況	D	C	/	/	/

☆

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
なし	→なし	/	/	/	/	/
なし	→なし	/	/	/	/	/

《現状の説明》 ※ 全小項目について記述が必要

小項目 11.0.1	11.0.1 国際交流（国内外における教育研究交流）についての方針を明示しているか。 (方針明示の有無) いづれかにチェックしてください。 →→→→→→→→→→ <input checked="" type="radio"/> 明示している <input type="radio"/> 明示していない (方針) 会計に関する国際的な教育水準に従って、グローバルな視野を持った世界に貢献し得る職業会計人を養成することを目的とする。
	(現状説明) 企業会計コースでは、国際化への対応を目的に、国際会計論をコア必修科目に据えるとともに、ベーシック科目に国際会計基準論A及び国際会計基準論Bを、アドバンスト科目にビジネスコミュニケーション、英文会計、英文会計事例研究の各科目を配置している。自治体会計コースでは、ベーシック科目とアドバンスト科目に国際公会計論及び海外行政経営事情をそれぞれ配当するとともに、NPMの海外事情の調査を目的に、NPMの先進国イギリスにおいて自治体行政経営の先駆的実績を上げている3つの大学院・研究機関と協定を締結している。
☆ 小項目 11.0.2	11.0.2 国際交流（国内外における教育研究交流）を適切に行っているか。 (現状説明) 企業会計コースの国際交流は、本会計大学院がメンバーになっている会計大学院協会における国際交流プログラムへの参加や、各担当教員が所属している各学会・学術団体を通じての研究活動に伴う国際交流の成果の教育への反映、といった間接的なものに留まっている。一方、自治体会計コースでは、学生の短期留学やイギリスからの講師招聘、共同研究、海外エクステンションでの訪問などの直接的な国際交流活動が、引き続き活発に推し進められている。
その他	

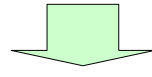
《評価指標データ》

☆	
☆	
☆	

◎効果が上がっている事項 ※目標の進捗評価が「A」の場合は必ず記述してください。

《点検・評価(1)》効果が上がっている事項 注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。

★	小項目 11.0.1	
	小項目 11.0.2	
	その他	



《次年度に向けた方策(1)》伸長させるための方策

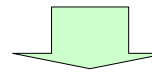
注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。

★	小項目 11.0.1	
	小項目 11.0.2	
	その他	

◎改善すべき事項 ※目標の進捗評価が「D」の場合は必ず記述してください。

《点検・評価(2)》改善すべき事項 注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。

★	小項目 11.0.1	
	小項目 11.0.2	
	その他	



《次年度に向けた方策(2)》改善方策

注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。

★	小項目 11.0.1	
	小項目 11.0.2	
	その他	

◎自由記述

《点検・評価》&《次年度に向けた方策》

★	その他 (自由記述)	
---	---------------	--

Ⅲ. 学内第三者評価

<評価専門委員会の評価>

- 理念・目的に国際性が謳われているので、更に国際交流について具体的な目標を立てて進めるのが望ましいと思います。
- 英語コミュニケーションを体系的に学習するためのカリキュラムの構築に関する記述が必要と思われます。
- 協定を締結している3つの大学院名を明示されたい。
- 国際交流に関する具体的な行動目標や評価基準を設定され、経年の表にして自己点検・評価するなどの方法もお考えください。

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

- 理念・目的で国際性を謳っているため、更に国際交流について具体的な目標を立てて進めていきたい。なお、海外招聘教授による講義を一部開設し国際化を実践している。
- ★ ○英語コミュニケーションについては、基礎教育(文法、会話の習得)が学部教育で終了しているという前提に立っていることから、ビジネスコミュニケーション等の科目の配当で内容的には十分と考えているが、より体系的なカリキュラムの構築を検討したい。
- 協定を締結している海外の大学院は、バーミンガム大学・地方自治体研究所(INLOGOV)、ロバート・ゴードン大学アバディーン・ビジネススクール、カーディフ大学カーディフ・ビジネススクール地方地域政府研究センター、の3者である。
- 国際交流に関しては、具体的な目標を設定し、経年評価するなどの方法も検討したい。